

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句

一般の部

奥の細道
むすびの地
大垣



持選

令和五年八月度 入賞句一覽

投句数 六百四十八句

大堀 武直 選

直線に餌運び来る親燕

滋賀県甲賀市 奥村 甲賀忍者

「親燕」は「燕の子」の傍題。燕の子育ての様子は、見ているも実に微笑ましい。巢の中で数羽の雛が黄色い大きな口を思い切り開け、喧しく餌をねだる。親燕は休む暇なく餌を巢に運ぶ。直線で燕の飛ぶ姿の懸命さが伝わってくる。

護摩の火のやがて空まで滝開き

養老郡養老町 松永 智志

滝開きの神事は、滝行者や観光客や地元民の安全を願って行われる。山伏が法螺貝を吹き、問答を行い四方に矢を放つ。そして、積み上げられた護摩木に点火され、その火の勢いはどんどん大きく強くなる。行事のクライマックスの一シーン。

風鈴の音色確かめ外しけり

揖斐郡池田町 木塚 しょう

風鈴はガラス・陶磁器・金属・貝殻などいろいろな素材で作られている。それぞれ独特な音色をしている。ひと夏、楽しませてくれた風鈴に感謝をする。どこかに疵や罅や汚れはないかと確かめながら片付ける。来年もまた良い音が聞けますように。

秀逸

想い出を語る床几の夕涼み

大垣市 佐竹 余史美

サングラスはずして道を聞き直す

東京都世田谷区 関戸 信治

守宮来て父だと思ふ百ヶ日

揖斐郡池田町 末松 比津留

まづは袖大いにまくり夏料理

東京都新宿区 花澤 ちいこ

切り抜きの記事山積や秋暑し

大垣市 平野 きぬよ

星流る丘に小さき墓を買ひ

埼玉県川口市 吉永 寿美子

白もまた激しさの色滝轟々

養老郡養老町 田中 紫香

大の字で睡る漁師や貝風鈴

神奈川県川崎市 立野 音思

喜雨やがて豪雨となりし棚田かな

福岡県福岡市 大津 英世

速記めく動きで蜻蛉舞ひ続け

東京都足立区 木幡 忠文

入選

石庭の箒目ゆらぐ炎暑かな

声高く三竿からの落雲雀

海光の沖に函館影涼し

夏館ほどよく痩せる竹箒

空蟬を睨む客間の大達磨

早朝の静けさにあり沙羅の花

流水にゆるる梅花藻夏つばめ

日盛や醬の匂ふ通し土間

片蔭や寺町カフェの最後尾

老夫婦顔見合わせて苺食ぶ

秋高し鳶の描く無限大

緑蔭や水面に映る野面積み

番傘に宿の大文字梅雨の明く

仏飯の涼しと思ふ御堂かな

庭隅の土匂ひけり花茗荷

一片の雲はぐれゆく晩夏かな

幾度もささやくやうに揚羽舞ふ

風鈴の舌替へ風の新しく

行く夏や手作りジャムの紅紫色

七月や整骨院にハワイアン

一般の部

愛知県名古屋市 館野 茂子

愛知県名古屋市 加藤 克治

岐阜市 廣瀬 あや子

本巢市 小泉 裕子

大垣市 高田 雅章

不破郡垂井町 竹嶋 富美子

不破郡垂井町 久保田 紘義

岐阜市 関谷 恭子

養老郡養老町 大橋 与志

京都府宇治市 八田 弥須子

岐阜市 伊藤 をさむ

大垣市 北島 暁子

大垣市 臼井 秀子

大垣市 吉川 和子

大垣市 村田 通夫

岐阜市 花川 和久

揖斐郡揖斐川町 栗野 みねお

兵庫県加古川市 戸田 みつよ

大垣市 柴田 えり子

京都府京都市 石田 吉之助

選者吟

夜の秋窓辺に立ちて風を吸ふ

武 直

